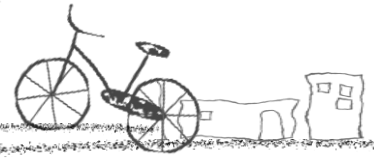




新しいテーマのサロンが始まります

環境 サロン

「自転車のまちづくり」



クルマ社会からの脱却を図り、環境にやさしい交通まちづくりの中で、自転車をどのように位置づけるのか、ソフト、ハードの両面から考えます。先進都市の事例、専門家のお話、安全な走り方、自転車利用者の体験報告や実走体験なども含めて、自転車で走りやすいまちづくりを目指します。

※このシリーズはうべ交通まちづくり市民会議と宇部市まちなか環境学習館の共催として実施します。

第1回 2月8日(水)

自転車利用の将来性と課題

(村上ひとみ)

自転車まちづくりの課題について、ハード、ソフトの両面から整理して話します。(自転車レーンの意義、国内の取り組み事例、自転車事故の原因と分布、左側通行の大切さなど)



「環境サロン」って?

身近な環境問題などを取り上げ、市民の方々と気軽に学びあえる場として、環境サロンを開いています。お気軽にご参加ください。

〈お問い合わせ〉銀天エコプラザ 39-8110

場 所……銀天エコプラザ
時 間……19:00~20:30
参加費……各回 300円

第2回 2月29日(水)

大分市のバイシクル フレンドリータウン取組

(大分市・松尾裕治)

平成19年より自転車通行環境整備モデル事業に取り組んでいる大分市の方に「バイシクルフレンドリータウン」の施策を紹介していただきます。

もうひとつのサロン



「3.11以後の暮らしと 環境問題」

2月16日(木) 第7回

〈原発に頼らない 地域の自立とは?〉

講師: 安溪遊地

(山口県立大学国際文化学部教授) 原発立地地域の地域振興策と農漁村のあり方を事例に即して考えます。

2月23日(木) 第8回

〈エネルギー問題と 私たちの暮らし〉

産業と生活に不可欠なエネルギーについて各国と日本の現状を整理します。また、再生エネルギー・新エネルギーについて考えます。さらに3・11以降のくらしのありかたについて討論します。

※途中参加も歓迎・3/15 最終回

第2回 エコなかまの集い

日時: 2/25(土)10:00~17:00

場所: とさわ湖水ホール

環境関連団体間の親睦を深め、また、各団体の活動を一般の市民の方に知っていただくためのイベントを開催します。

音楽演奏・坂本紘二さんの特別講演・各団体の展示・ボランティア品販売のほか、クルマ社会を考える「環境トーク」などを行う予定です。お誘い合わせの上、ぜひおこしください。

まちなか環境学習館「銀天エコプラザ」には、学習室(無料)、大小のミーティングルーム(有料)がございます。ご利用、ご見学をお待ちしております。

宇部市環境学習ポータルサイト
「うべっくる」



うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com>

3/11(日)は
まちなか
エコ市場
(裏面をご覧ください)

第3回

まちなかエコ市場

日時：3月11日(日) 10:00~16:00

場所：銀天エコプラザ前、ステージ



今回は住宅用断熱ガラスや太陽光発電など、省エネや再生可能エネルギーに關した出展もあります。

また、新鮮な野菜やエコ商品などの販売、ダンスや音楽のステージも計画中です。



遊びにきてくださいね!

環境ミニコラム

小野湖と小野の大切さ (3)

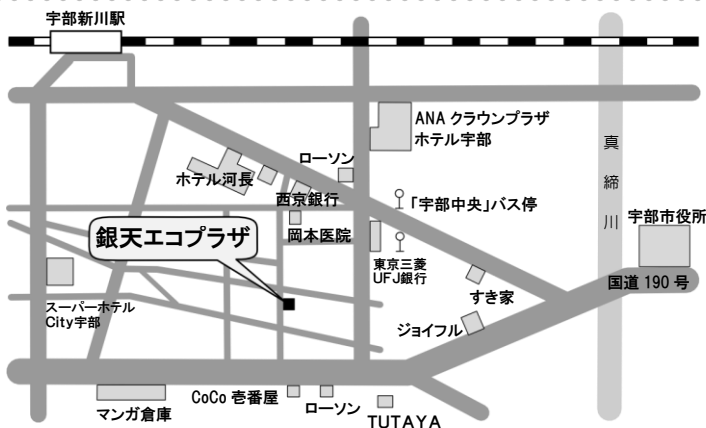
<産業廃棄物処分場の設置許可基準>

水源地を汚染する可能性のある安定型産業廃棄物処分場の設置許可に当たって、十分にその安全性が確認された上で許可されているのでしょうか！考えてみましょう。許可の主要プロセスは次のようになっています。①生活環境影響調査の実施(計画者)②調査結果の關係地域自治会への説明(計画者)③次の者から設置の承諾を得る。自治会、排水放流先の水路、河川等の管理者、水利権者、漁業権者、計画地に隣接する土地の所有者(計画者)。その後④關係市町村の意見及び専門知識を有する者の意見を考慮して決定されます。

埋め立てられる産業廃棄物は、廃プラスチック、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリート・陶磁器・がれき類で安定5品目と呼ばれています。安定だからとの理由で、埋め立て地からの浸出液による公共の水域及び地下水の汚染を防止するための措置は求められていません。従って素堀同然の穴に埋め立てることが出来るのです。一番の問題は、安定型最終処分場に埋め立てられる安定5品目がその名と違ひ決して化学的に安定でないということです。これを安定と決めつけて生活環境影響調査を実施しても、水域や地下水が汚染されるという結果が出ることは有りません。現実に福岡県筑紫野市の安定型処分場で、発生した硫化水素によるとみられる中毒で作業員3名が亡くなっています。また滋賀県栗東町の安定型処分場においても高濃度の硫化水素が検出されています。

これは、安定5品目が決して安定でないことを証明しています。安定でない産業廃棄物を安定として実施する生活環境影響調査など意味がないと言わざるを得ません。

津島 榮



環境なんでも相談室

環境なんでも相談室では、環境に関する皆さまの質問・疑問、御相談に、当学習館においてやメールで銀天エコプラザのスタッフが応じます。ご提案も受け付けます。お気軽にお尋ねください。

メールでのお問い合わせは宇部市環境学習ポータルサイト「うべっくる」の問い合わせフォームよりお願いします。

環境活動団体紹介コーナー

東岐波里海再生の会

私たちの活動は、平成19年に瀬戸内海に關係する府県・6政令指定都市・12中核市により構成された知事・市長会議で取りまとめられた「瀬戸内海再生方策」にもとづいて、私たちが取り組める次の項目について活動しています。

- ① 海浜やそれに注ぐ川の漂着ごみ、漂流ごみの清掃
- ② 河川の水質浄化
- ③ あさりの復活
- ④ 海岸線の美化および干潟の再生のための植林
- ⑤ 小・中学校と協力し、環境学習の推進

※上記活動を行うために、全会員を中心に、小・中学生さん、漁業組合の皆さんの協力を得て行っています。



現会員 磯中幸男、兼重和美、小林 実、寿恵村泰生、高井鉄夫、中野幹夫、中村健三、中山宗之、三浦 勇

宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110

E-mail info@ubekuru.com

開館時間 9時~21時

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)